



令和4年7月4日

川の自然観察会（河川環境学習）を開催します

～留萌川の自然環境を活かした、グリーンインフラを推進～

留萌開発建設部では、気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、流域全体で水害を軽減させるハード・ソフト一体の治水対策として、「留萌川流域治水プロジェクト」を推進しています。

この度、留萌川流域治水プロジェクトにおけるグリーンインフラの取組の普及を目的として、留萌市立潮静小学校と留萌市立緑丘小学校の児童を対象に川の自然観察会（河川環境学習）を下記のとおり開催します。

記

1. 日時・参加者

令和4年7月13日（水） 9:00～12:00 潮静小学校4年生8人
令和4年7月14日（木） 9:00～12:00 緑丘小学校4年生26人

2. 場所

留萌市幌糠「幌糠水辺の楽校」（別紙参照）

3. 実施内容

簡易水質調査、水生生物調査、魚類観察 等

4. その他

雨天時又は河川水位が高い場合は、予備日に行います。

予備日

令和4年7月20日（水） 9:00～12:00 潮静小学校4年生8人
令和4年8月19日（金） 9:00～12:00 緑丘小学校4年生26人

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 電話 0164-43-5515

治水課 課長 平塚 修二（内線 291）

治水課 流域計画官 法村 賢一（内線 309）

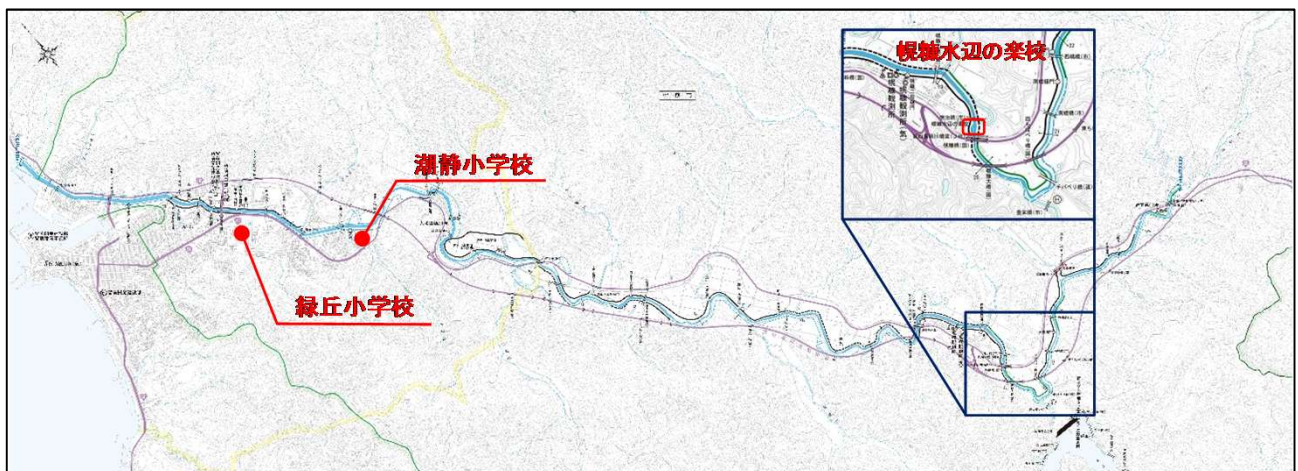
留萌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>

公式Twitterアカウント @mlit_hkd_rm



川の自然観察会 実施場所

別紙



川の自然観察会 実施状況

別紙

[川で遊ぶ際の注意点について]

三密を防ぐため、間隔をあけて着座する。



パネルを用いた危険箇所やライフジャケットの説明

[簡易水質調査]

三密を防ぐため、児童を少数に分けて実施する。



透視度計やパックテストを用いた簡易水質検査の説明

[魚類観察・VR動画体験]

三密を防ぐため、児童を少数に分けて実施する。



留萌川の魚類の説明とVR動画体験

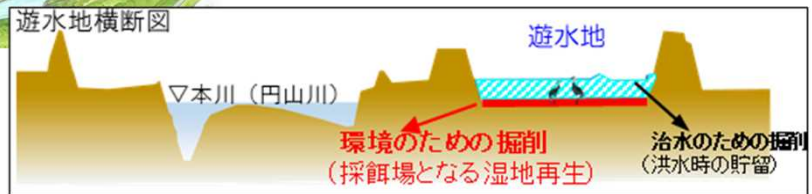
流域治水プロジェクトにおけるグリーンインフラの取り組みの推進

○流域治水プロジェクトにおいて、グリーンインフラの取り組みを反映し、治水と環境の両立した取り組みがスタート

○今後は、生物の多様な生息環境の保全・創出、地域の自然環境と調和する景観形成等の環境の取り組みについても流域のあらゆる関係者とともに推進

● 遊水地や河道の掘削形状を工夫して、生物の生息・生育・繁殖の場となる湿地環境を保全・創出し、生態系ネットワークの形成を図る。

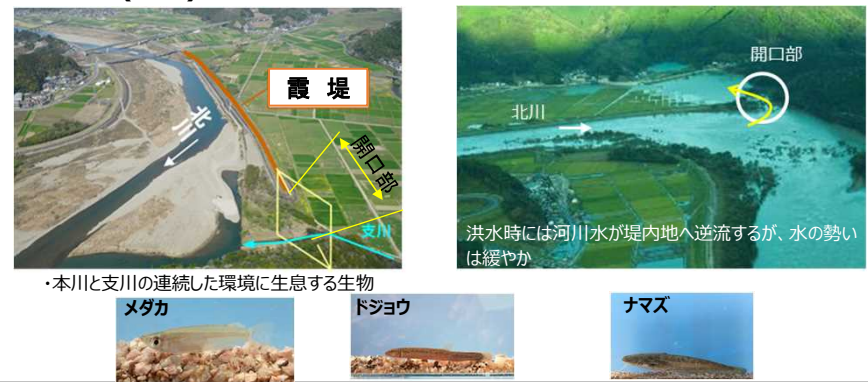
遊水地でのイメージ (円山川)



河道掘削でのイメージ (九頭竜川水系日野川)



● 霞堤を適切に維持し、河川と流域を生息域とする魚類等の連続した環境を保全し、生物の多様性の維持を図る。
霞堤のイメージ (北川)



● まちづくりと一体となって堤防や護岸を整備し、地域の歴史、文化及び観光基盤と調和する景観を保全・創出し、地域活性化を図る。

堤防整備 (旭川)



護岸整備 (五ヶ瀬川)



堤防整備 (名取川)



護岸整備 (天竜川水系三峰川)



留萌川流域治水プロジェクト【位置図】

～北海道北西部の物流、地域経済の拠点「留萌市」を洪水被害から守る治水対策の推進～

- 流域の大部分が山地で占められる留萌川は自然の軸、緑の帯として地域の自然環境の基盤を形成しているほか、豊かな水辺の生態系や連続する緑のコリドーとして、生物の貴重な生息・生育環境を提供している他、河川を横断する構造物がなく、水際まで植生が繁茂する自然的景観を有する箇所も多いことから、魚類等の生息しやすい河川である。
- 留萌川はサクラマス等の魚類や鳥類が自然環境で着目すべき種とされており、生物種の生息・生育環境に留意し、今後約9年間で瀬、淵などの保全によりこれら生態系に必要な生息・生育環境への影響軽減を図るなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

●グリーンインフラの取組み 『地域の自然環境の基盤を形成している留萌川水系の生態系に必要な瀬・淵などの再生』

■グリーンインフラメニュー

●治水対策における多自然川づくり

- ・瀬、淵等に配慮した河道掘削の実施
- ・魚類や鳥類の生息・生育環境の保全

●魅力ある水辺空間・賑わいの創出

- ・水辺の賑わい空間創出

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・小学校などにおける河川環境学習（幌糠水辺の楽校）
- ・河川協力団体によるやまべの稚魚放流

【全域に係る取組】

- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援。
- ・魅力的な水辺空間のPRや水辺利活用を促進し、地域振興を図る（かわたびほっかいどう）。

樽真布ダム

【位置図】



凡例

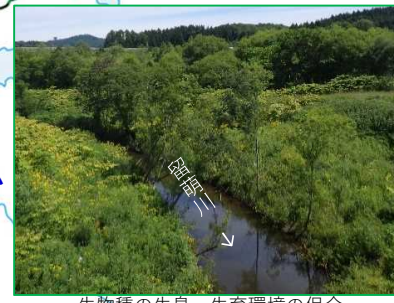
	治水メニュー
	市街地
233	国道
	高規格幹線道路
	JR線
 	大臣管理区間



干潟の保全



水辺空間の利活用促進（るもい川まつり）



生物種の生息・生育環境の保全



河川環境学習



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。